[通常機体] サ　A

ザク III “ マラサイ II ”

機体名	ザク III “ マラサイ II ”	画像
型式番号	AMX-108	

英語名	
所属	
パイロット	
装甲材質	
装備	
作品名	
参考書籍	MG 誌 Vol. ２９

内容

地球連邦軍は、一年戦争に ZIONIC 社の技術を導入した MS、RMS-106 ハイザック を開発した。
ムーバブルフレーム、リニアシート等の新技術を導入したこの連邦製の新 MS、しかしその外観はジオンのザクのそれであった。
後にそれは RMS-108 マラサイ へと流れる。
“ 最後のザク ”と言われた マラサイ であったが、アクシズの出現→ネオジオン軍の成立→ ザク III の開発により、再び前線に “ ザク ” が登場する事になった。
マラサイ のポテンシャルの高さを ザク III へ移植。安直な発想ではあるが、アナハイム･エレクトロニクスの技術にはほとんど無関心であったアクシズにしてみれば、連邦製ザク・ マラサイ は旧型にしろ見習う所は大だったのかもしれない。

備考

■作例製作

長谷川保吉

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	